



# 鴻巣西中通信

学校だより No.2

学校教育目標 「心豊かで たくましい 西中生」  
公式ホームページ <https://konishi-j-konosu.edumap.jp/>

鴻巣市立鴻巣西中学校  
鴻巣市大間1161番地  
令和8年4月30日

心に火を付けていただきました

校長 三杉 紀文

耳を澄ますと、木から木へ飛び回る鳥たちの元気な声が聞こえてきます。暖かくなり、日によっては汗がにじむくらいの気候になってきました。

さて、新年度のスタートから早くも1ヶ月が経ちました。学校の年度替わりは、人の入れ替わりから始まります。昨年度の3年生が3月に卒業し、4月から初々しい新入生が入学してきました。教職員も人事異動により、入れ替わり等がありました。生徒にも教職員にもこの4月から初めて本校での生活を始める人たちがいます。「初めて」は本人にも周囲にも、不安があるかもしれませんが、私にはそんな時に思い出す出来事があります。

私が初めて教員になって初めて学級担任になった時の、初めての全校家庭訪問の時のことです。初めて学級担任になったことは、嬉しく、また同時に緊張と不安も多分にありました。おそらくご家庭でも、経験の少ない、いかにも頼りなさそうな教員が学級担任で大丈夫なのだろうかとさぞかし不安に思われていることだろうな、などと思いながら、家庭訪問におかいました。

ある家庭を訪問させていただいた時のことです。私が「初めての担任ですので、いろいろ行き届かない点もあるかとは思いますが、学年・学校の職員と連携して精一杯頑張るつもりです…」と切り出しかけたところ、保護者の方から思いもかけなかった言葉をいただきました。「そうそう、初めての学級担任だそうですね。だから、子どもにも言ったのですよ。あなたは、とつてもついているわね。担任を初めてやる先生なら、きっと初めてだからと何事にも丁寧に一生懸命取り組んでくれることでしょう。そんな担任初めての先生にあたるなんて、めったにないことなのだから、あなたはとつてもついているのよ。」

初めての担任…不安要素の指摘こそされて仕方ないと思っていましたが、まさかこんな肯定的な捉え方があるとは思ってもよらず、しかもそれを子どもにも伝えていただいていたというのは大変な驚きでした。気休めの言葉であったとしても、私にとってはまさに感動でした。体の奥から凜々と勇気がわいてくるのでした。

それ以来、20年連続で学級担任を務めました。何か成果を上げられたとすれば、あの時のように周りの方々からの温かいご支援のおかげであったと今は確信しています。初めての新鮮な力を生かせるかどうかは、周囲の受け止めの影響もとても大きいことを知りました。

最終的に子どもたちの成長につながることを常に共通目標としながら、学校、家庭、地域が連携していくことこそが、最も教育効果を高めることができます。教職員も全力で努めますので、どうぞよろしく願いいたします。